

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		WorkshopRNC		公表日			令和8年 7月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		今あるスペースを目的、状況に合わせて構造化し、活動しています。	昨年度に比べ、児童数の増加により一人当たりのスペースは減ったため、空間の確保と環境の整備が必要と考えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		個別対応ができるよう、基準人員を確保しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設内は、段差のない玄関、引き戸であるなど、車いす利用者も不自由なく動けるスペースを確保しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		定期的にミーティングを実施し、環境の工夫改善に努めています。毎日の清掃・消毒を行い清潔な環境に留意しています。また、安心安全に子どもたちが生活できるよう日々環境を整えています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	必要に応じて個別の部屋で活動することがあります。（勉強したい時など。）	スタッフの配置が可能であれば別室での活動と見守りができます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	支援の方向性を統一するため、ミーティングを行い、支援内容について見直しと改善を行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握することが出来ました。スタッフ間で内容を共有し、業務改善につなげていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		週1回のミーティングなどで話し合いを行い、必要であれば業務改善に繋げています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者評価は未定だが、今後受けることを検討している。会社内の多職種スタッフに意見を求め多角的な視点を取り入れ業務改善に繋げています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		内部研修や外部研修に参加しています。他の職員への伝達研修も実施しています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		利用案内のパンフレットに掲載しています。HPにも掲載されています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		専門スタッフだけではなく社会福祉士、介護福祉士など様々な職種のスタッフが意見を出し合い計画作成に努めています。	お子さまと保護者様のご要望、ご意向を伺い、アセスメントシートを用いて課題を整理し、個別支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	個別支援計画立案時にミーティングにおいて意見を求め、計画作成後は計画に沿った支援を行っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画原案立案時には、内容をミーティングで全体に共有し、日々の支援において計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	常時子どもたちの様子を情報共有し、記録、確認しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3		移行支援及び地域支援・地域連携に関しては、その子に合った支援ができるよう情報を集め、本人やご家族のニーズに照らし合わせ必要時に支援ができるような体制を整えています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童指導員、介護福祉士、保育士、社会福祉士が共同し、活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		その都度、活動内容の振り返りを行い、利用者の意見を取り入れたプログラムを用意するなど、様々な活動の提供を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	個々の成長や様子を確認、共有しながら個別活動、集団活動内容を設定し計画を作成しています。	個の課題に合わせ、集団の一員としての課題をより明確にして計画に反映させ支援を行っていきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前に、活動内容、役割分担の確認と共有を行い支援に取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		一日の活動を振り返り、利用者の反応や職員の対応に関して、その都度振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援記録や日報で支援内容を記録し、それを基に支援計画の評価を行い、次の支援の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3	スタッフが子どもたちの活動の様子を観察して支援内容が適しているか相談しながら見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5	2	子どもの発達段階に合わせてバランスよく支援を行っています。	4つの基本活動のうち、地域交流の活動に関しては、地域のボランティアを受け入れたり、地域の公園で遊んだり、買い物などで地域で過ごす時間を増やすなどの機会を設けることを検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		行事や日中活動では、子どもたちの意見を取り入れた企画を行ったり、子どもたちに企画を計画してもらうなど、一人一人が主体的に参加し、自己決定できるような機会の提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		必要時、地域の保健・福祉サービスの機関と情報共有を行い、連携し支援を行えるよう努めております。担当者会議等には管理者またはお子様の状況に精通した支援員が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		地域の専門機関や教育等の関係機関と情報共有し、適切な支援を行えるよう努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		必要時、会議への参加で情報共有に努めております。また、ご要望や必要に応じて事業所内でのお子さまの活動状況をご見学いただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学に向けてのご家族への相談支援を行っています。また、特別支援学校や地域の相談事業担当者等と連携し、お子さまの状況や支援内容の情報提供、情報共有を図っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	児童発達支援センターなどと情報の共有時には相談などを行い連携を図っています。	今後、職員研修等で助言などを受けられるようにしていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	定期的な交流の機会は設けていないが地域の公園で遊んだ際にその場にいる子どもたちと交流をもてるよう努めています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		今後そのような機会があれば、管理者が参加する予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時、保護者様には直接様子をお話ししたり、サービス提供記録でお伝えしたり、保護者からいただいた情報は全スタッフで共有するようにしています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		決まった支援プログラムはないが、子どもたちの困りごとや対応の仕方に対して、双方で相談できる体制はあるが、研修などの開催は今後の課題となっています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学时、契約時に必要な情報をご説明させて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		こどもの最善の利益を優先し個別支援を計画しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		契約時や面談の際に個別支援計画を提示・説明を行いご家族の同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	送迎時に保護者様と話すなど、必要に応じて適切な支援をさせて頂いております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		今後どのように交流の機会を設けるか検討を行っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れがあった場合、面談や電話にて適切に対応するよう努めております。スタッフ間で共有し、迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	SMSを活用して、一日の活動内容や児童の様子を保護者の方に伝えています。	定期的にお便りを発行することでWorkshop RNC全体の様子をより詳細にお伝えすることができる。保護者の方々に子どもの様子がより伝わることで安心してもらえるような支援を行うよう努めていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に記載されている書類を保管する場所は取り扱いに注意しています。	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		筆談ボードを利用するなど、一人ひとりに配慮したコミュニケーション方法をとっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	広報を通して地域の方には認知をしていただいておりますが、行事への参加をしていただくことはしていません。	半年に一回行われるデイサービスの運営推進会議等に民生委員を呼び、放デイについての説明を行ったり、手話教室には地域の子どもたちが参加するなど、地域との繋がりを作っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルの作成を行っています。周知し職員がマニュアルに沿った行動がとれるよう努めております。保護者へは契約時に緊急時の対応、災害時対応等の説明を行っております。	地域の中で、できることがあるか検討してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に避難訓練の機会を設けています。災害時におけるスタッフの役割と対応の確認を行っています。	避難訓練を年二回行っていますが、訓練の様子を全体に周知できるよう検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメントにおいて知りえた情報はミーティングで全体に共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の指示に基づき対応しています。アレルギーの配慮が必要な児童がいる場合は、おやつを提供時に、スタッフによる成分表示のダブルチェックを行うなど、アレルギーに配慮したおやつを提供を行っています。	食物アレルギーに対する研修を今後実施します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全対策マニュアルを作成し、内容を周知することや勉強会、訓練により安全管理を徹底しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			引き続き内容の周知に努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事故に繋がりそうだと思う出来事はヒヤリハットで報告しています。	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止の研修受講や、事業所内自己チェックや勉強会を行っております。虐待防止研修に参加しています。スタッフの意識的な支援に繋がり、適切な対応が出来るよう努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		契約時に説明し了承をいただいております。	